

8. 人的な事業推進体制の充実

— 徹底的な市民参加による事業推進を貫く。ボランティア108人、事務局員21人がチームを組んで事業成果をあげる。

協会は組織経営から事業推進まで幅広い場面に多くの市民が参画している。特に事業推進に直接関与するスタッフを「アソシエーター」（協会=Associationから作った造語）と呼んでおり、2020年度も、ボランティア(のべ164人、実数108人)と有給専従スタッフ(事務局員実数21人)が協働して事業推進に当たる体制「参加システム」で事業を進めた。具体的には、①個々の事業を企画推進する「チーム」「委員会」「事務局」を核に、②事業部門ごとに「運営委員会」を設け、さらに③経営全般を協議する「常任運営委員会」を開催。④「事務局員」が日常的に事業の“つなぎ役”となる他、⑤年2回、全体会議(11月の「一泊創出会議」、3月の「事業計画会議」)を開催。アソシエーター全員の協議で事業や組織のあり方を決めるシステムをとり、自治的で開かれた形で運営を進めている。

1. 会員・寄附者の拡大

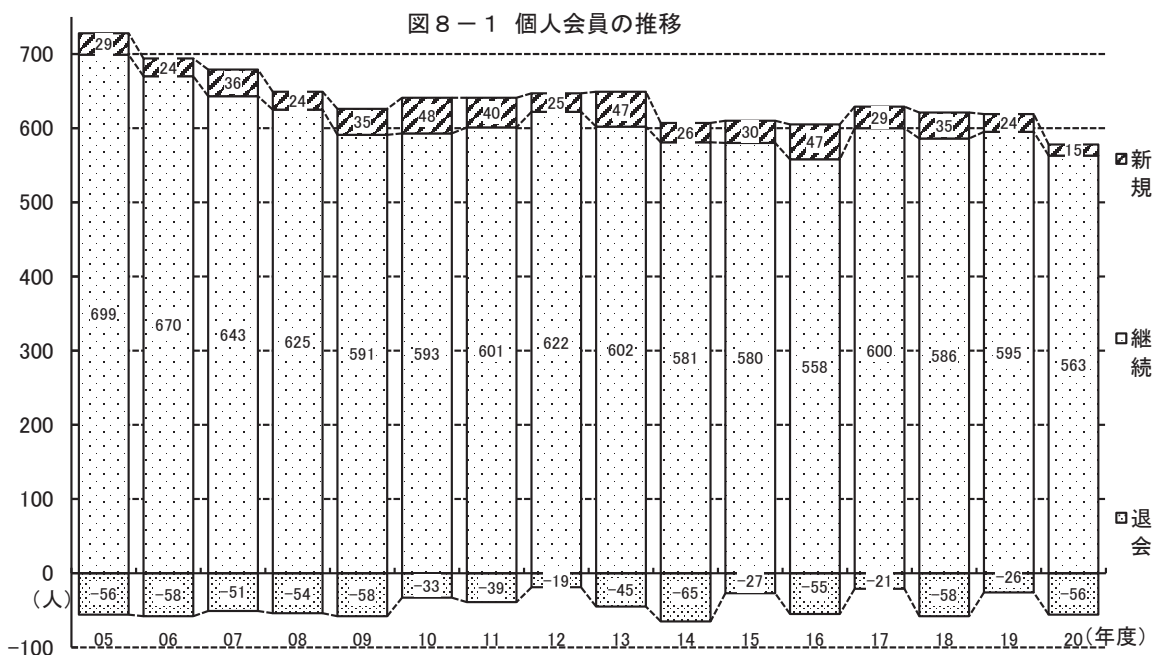
(1) 会員の現況

協会は、その目的に共感する市民が“個人会員”として事業を支える一方、趣旨に賛同いただいた企業などに“賛助会員”として資金的援助を受けている。新規入会は、個人会員・個人賛助会員あわせて17人だったが、長期会費未納者の退会手続きを行ったことで退会者が56人となり、個人会員総数は減少となった。一方、団体賛助会員(企業・非営利)は、新規があわせて3社、退会が2社となった。なお、特別会員は協会創設以来、多額の助成をいただいている(一財)皓養社・前理事長中納久昭氏である。〔下表で()内は昨年度実績〕

表8-1 2020年度の会員の異動状況(カッコ内は前年同期実績)

	2020年3月	新規加入	退会	2021年3月
特別会員	1(1)人	0(0)人	0(0)人	1人
個人会員	619(621)人	15(24)人	56(26)人	578人
(内、生涯会員)	24(25)人	0(0)人	7(1)人	17人
個人賛助会員	20(16)人	2(5)人	0(1)人	22人
団体賛助会員(企業)	44(45)社	2(1)社	2(1)社	44社
団体賛助会員(非営利)	9(9)団体	1(0)団体	0(0)団体	10団体
合計	693(692)	20(30)	58(28)	655

※個人会員から個人賛助会員、賛助会員から個人会員への変更は、それぞれ新規加入として計上している。



(2) 会員・寄附者拡大に向けた努力**① 会員限定通信誌『CANVAS NEWS』の内容【発行部数1,000部(隔月)】**

市民活動スクエア「CANVAS谷町」と大阪ボランティア協会の「今日」をお届けするマガジン「CANVAS NEWS」を会員に隔月で送付した。

4・5月号	2019年度大阪ボランティア協会事業計画会議の報告／「SDGsトレイン」に想いを乗せて…／「おおさか災害支援ネットワーク(OSN)2018年大阪府北部地震支援活動報告書」できました／協力感謝／緊急支援寄附のお願い／2020年度定期総会について重要なお知らせ
6・7月号	新型コロナウイルスに関連する取り組みのご紹介(私と地域と世界のファンD:みんなおんなじ空の下、新型コロナウイルス感染症NPO緊急支援サイト)／コロナ禍の生活で／協力感謝／入職しました!／緊急支援寄附のお願い
8・9月号	新型コロナウイルスに関連する取り組みのご紹介(オンライン交流会で、世界中の会員とつながる)／コロナ禍での2020年度の大阪ボランティア協会 それでも、協会は動きます!／事務局スタッフのご紹介／協力感謝／緊急支援寄附のお願い
10・11月号	新型コロナウイルスに関連する取り組みのご紹介(パートナー登録団体・オンラインサロンを開催)／市民活動スクエア「CANVAS谷町」の今!／協力感謝／介護の現場応援プロジェクト! マッスルスーツの寄贈で介護者の負担を軽減しよう／退職のご挨拶
12・1月号	コロナ禍に向き合う市民活動団体の声(あつとすくーる、DDAC発達障害をもつ大人の会)／2020年度一泊創出会議報告／協力感謝／新刊「ボランティア研究4号」／緊急支援寄附のお願い
2・3月号	コロナ禍に向き合う団体の声(大阪交通遺児を励ます会、キャンピズ)／コロナ禍1年ふりかえり／協力感謝／入職・退職ごあいさつ／緊急支援寄附のお願い

② 寄附および会費自動納入システムの運営

クレジットカード・オンラインシステム、近畿労働金庫、郵便貯金から寄附や会費の引き落としが可能な態勢を整えている。2020年度の利用者は、近畿労働金庫:3人、郵便貯金:21人、クレジット:のべ179人である。

③ 寄附者拡大に向けて

2020年度は、「自助グループ利用応援寄附」「KVネット運営寄附」「蔵書検索システム構築寄附」の3つの事業指定寄附のほか、「災害支援寄附」、使途を指定しない「一般寄附」、新型コロナの影響を受けた経営悪化による「緊急支援寄附」を募集した。「緊急支援寄附」は2020年3月から募集を開始し、合計1,751,800円(104件)のご寄附をいただいた。また、遺贈に関連する寄附として1千万円のご寄附をいただき、ポスト50年行動宣言関連事業に使用する予定となっている。なお、寄附者名は「2020年度の援助者および会員」に掲載している。

以下は全て2020年度内にご寄附いただいた金額・件数である。

- ・「自助グループ利用応援寄附」30,700円(5件)、
- ・「KVネット運営寄附」8,000円(2件)、
- ・「蔵書検索システム構築寄附」7,000円(1件) ※検索システム完成に伴い募集終了。
- ・「災害支援寄附」32,500円(5件)、
- ・「裁判員ACT」5,000円(1件)、
- ・「ボランティア研究」10,000円(1件)
- ・「ポスト50年行動宣言事業」10,000,000円(1件)
- ・「一般寄附」2,420,560円(196件)、
- ・「緊急支援寄附」1,591,800円(96件)

2. 組織活動**(1) 理事会(第93~95回)の開催**

【第93回】開催日:2020年6月3日(水)、出席理事:6人、出席監事:3人

議案:①2019年度事業報告および決算について、②2020年度事業計画および第一次補正予算について、③定款の改定について、④就業規則の改定について、⑤社会福祉充実残額について、⑥第79回評議員会の招集について ※③は理事会閉会後に時期を見直すことに決定する。

【第94回】開催日:2020年11月26日(木)、出席理事:5人、出席監事:3人

議案:①2020年度上半期事業報告(案)および上半期収支報告(案)

【第95回】開催日:2021年3月13日(土)、出席理事:5人、出席監事:3人

議案:①2020年度第二次補正予算(案)、②2021年度事業計画(案)および2021年度予算(案)、③2021年度「ウォロ」編集業務委託の随意契約について、④常任運営委員、および参与の委嘱について、⑤第80回評議員会の招集について ※①④は議案取り下げ。

(2) 常任理事会の開催

協会の経営や労務面の課題を日常的に審議し、毎月の常任運営委員会の議案整理と理事会に提案する事項を審議するため、理事長、常務理事・事務局長、常任運営委員長で「常任理事会」を設置。毎月、開催した。

(3) 評議員会(第79~80回)の開催

- 【第79回】開催日：2020年6月24日(水)、出席評議員：11人、欠席評議員：1人
議案：第93回理事会①、②、③に付した議案の承認 ※③は議案取り下げとする
- 【第80回】開催日：2021年3月30日(火)、出席評議員：10人、欠席評議員：2人
議案：第95回理事会②に付した議案の承認

(4) 監事会の開催

開催日：2020年5月20日(水)、出席監事：3人
内容：「2019年度事業報告・決算報告」に関し、事業・経理・組織運営面の監査を実施した。

(5) 会員総会(2020年度定期総会)の開催

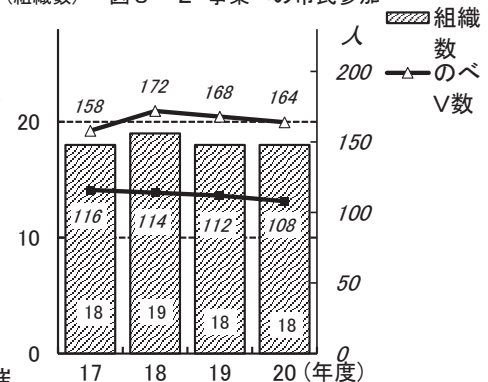
2020年6月に予定していたが、新型コロナの影響で中止とした。

3. 市民参加による事業推進

協会事業への市民参加の状況(「参加の場」(チーム・委員会などの組織数)と、参加するボランティアのべ人数)を図8-2に示す。

20年度の協会で活動するアソシエーターは、のべ226人(昨年度217人)[うち、ボランティアのべ164人(同168人)]、ボランティアの実数108人(同112人)と、アソシエーターのべ人数は増加したが、ボランティアはのべ、実数共に減少した。新たにアソシエーターになった人は8人であったが、今後も更なる人材発掘・育成が必要である。

(組織数) 図8-2 事業への市民参加



(1) 一泊創出会議、事業計画会議(アソシエーター総会)の開催

事業活動と組織運営をアソシエーター全員が参加できる場で検討するため2回の会議を開催した。「一泊創出会議」では、設立60年となる5年後の2025年に向けてめざす方向性を議論した。「事業計画会議」ではチーム、委員会、事務局など全事業主体が、それぞれでまとめた20年度実績の評価と、21年度の事業計画・予算案を提案。小グループごとに意見交換と質問・評価シートの記入を行うとともに、全体での討議を通じて、事業の質の向上を図った。協会の事業計画立案はボトムアップ型のスタイルとなっている。

◎一泊創出会議：2020年11月7日(土)～8日(日)、25人参加(宿泊参加22人、オンライン参加3人)。場所は「湯の宿 木もれび」(滋賀県大津市おごと温泉)。松原明さん(認定NPO法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会 元代表理事)をゲスト(オンライン登壇)に迎えたセッション1-2「ウイズコロナ時代、市民活動支援機関は何をめざすべきか」、対話「松原さんと考える、これからの市民活動支援機関-大阪ボラ協は世界をめざす?! ボラ協の“参加”はなぜ広がっていないのか」を踏まえ、当協会ミッション・50周年ビジョンと各事業・委員会・チーム活動との紐づけ・整合性について、あらためて整理し、再構築するきっかけとした。

◎事業計画会議：2021年3月27日(土)、31人参加(うち、オンライン参加8人)、場所はCANVAS谷町。各チーム・委員会ごとの事業報告と計画を発表し、意見交換を行った。今年度は新型コロナの影響で、従来の2日間開催から1日開催(10時～19時)で実施した。ペーパーレス化を図り、オンライン参加でも見やすく、分かりやすいように工夫し、会場にスクリーンを設置し投影した。昨年に引き続き懇親会は中止とした。

(2) 常任運営委員会(委員長・上林康典、委員V15人、委員職員4人)

協会事業全般に関し、ボランティアスタッフによる日常的な経営協議の場として組織している。2015年度以降は、財務・基金運営委員会の休止を受けて、財務検討の場としても機能している。2020年度は、毎月開催した(定例日原則第3火曜、19時～21時、ZoomとCANVAS谷町のハイブリッド開催)。なお、委員でない事務局員も発言可能なオブザーバーとして参加し、勤務扱いとしている。

<委員>上林康典(委員長)、楠正吉、谷水美香(以上、副委員長)、稲田千紘、井上小太郎、岡本友二、
小林義彦、田中宏和、筒井のり子、中川智子、西江孝枝、藤原麻佐代、増田宏幸、村岡正司、森本聡、
永井美佳、江渕桂子、梅田純平、椋木美緒
(委嘱者)早瀬昇
(オブザーバー)岡本榮一(顧問)、磯野太郎、藤原正規、船越智絵、谷垣哲也、青山織衣、市居利絵

＜主な審議・協議内容＞ 【重点タスク】「①2030年のあり方検討(休止)」「②ファンドレイジング(定例議題で協議)」「③協会を支える人づくり(休止)」「④協会三大会議の見直し(定例議題で協議)」「⑤ホームページ戦略タスク(新設)」「⑥委員長会議(仮)タスク(新設)」【定例報告】各センター運営委員会・委員会・部会、社会福祉法人運営、および各常任タスクの報告/月次報告・決算案・予算案・財政/事務局体制/常任が知っておきたい業界の動き/チェックイン(コロナ禍でのコミュニケーション促進)/【常任運営】コロナ禍における協会の事業推進・運営の大方針と各事業の推進方針/2021年度常任運営委員継続確認・候補者の推薦・開催日程の決定/タスクチーム推進を含めた年間計画の検討/2021年度常任運営委員長を信任投票にて選任/【三大会議と参加型運営】定期総会・記念講演会、創出会議、事業計画会議の開催方針の決定およびプログラムの骨格検討と議長団の選出/19年秋に発出した協会事務局緊急事態宣言の緩和・収束と今後のボランティア・職員の協働のあり方検討/コロナ禍で大忘年会の開催可否の決定/【会員】会費依頼と退会届けの提示時期の方針決定/【提言・メッセージの検討・発信】「新型コロナウイルスの影響下での市民活動に関するメッセージ」の発信/『with コロナ』のボランティア活動について「～お互いに気持ちよく活動するために大切にしたいこと～」と「新型コロナウイルス影響下でのボランティア受け入れのポイント」の発信/「森会長、二階幹事長の発言に抗議します!!」の発信/ウォロ「V時評」の協議/緊急提言や緊急集会などアドボケイト活動にかかる協会の基準づくりに向けた協議/【共同声明・要望書への賛同】共同声明「新型コロナウイルスの影響によるNPO及び多様な市民活動の存続危機に対する支援に関する要望書」への賛同(議員連盟・府知事・市長宛)/「新型コロナウイルス感染症の危機に対応するための休眠預金等活用法の暫定措置に関する要望書～『誰一人取り残さない』休眠預金制度へ～」への賛同(国会議員宛)/「2025年万博をSDGs万博にするために、会場変更の検討および持続可能性評価の実施を求める声明文」への賛同(BIE等関係機関宛)/共同声明「私たち日本の市民社会は、日本政府に対して、ミャンマー市民の人権を守るためのアクションを求めます」への賛同(内閣総理大臣宛)/【計画にない新規事業の協議・承認(コロナ対応含む)】「新型コロナウイルス感染症が市民活動に及ぼす影響に関する調査」の実施/緊急支援基金「私と地域と世界のファンド:みんなおんなじ空の下」の実施検討、ファンドレイジング大作戦、中間総括/ソニー銀行との新規事業「マッスルスーツ寄贈プロジェクト」の承認/コロナ禍での収入をとまなう事業開発大作戦/新たな助成事業の新設と社会福祉事業の追加検討/「都構想」緊急オンライン学習会「いわゆる「大阪都構想」で、大阪の福祉はどうなる?」の開催検討(会員自主企画として実施)など

(3) 法人コミュニケーションチーム(チーフ・井上小太郎、V4人+職員3人)

団体賛助会員・非営利会員とのコミュニケーションを強化し、関係の維持・拡大を目指すため、財務・基金運営委員会から分離して2014年度に新たに設置。2020年度は年3回開催した。

＜委員＞井上小太郎(チーフ)、岡本繁樹、早瀬昇、森田正紀、永井美佳、江渕桂子、谷垣哲也

＜主な協議内容＞団体賛助会員・非営利会員の訪問分担、新規会員獲得に向けた検討など

(4) ボランティア・NPO推進センター運営委員会(委員長・谷水美香、V11人+職員6人)

協会事業(ボランティア・NPO関連事業)全般に関し、ボランティアスタッフによる日常的な運営協議の場として組織している。20年度は委員会を7回、拡大委員会を1回開催した。

関連事業の進捗状況などのチェックや、NPO支援の見直し・今後の在り方について、議論を行った。またボランティア・NPO関連事業、CANVAS谷町(貸会議室)の運営についても検討を行った。

＜委員＞谷水美香(委員長)、岩本裕子、大島一晃、椎名保友、杉浦健、杉本亜希子、立小川剛、筒井のり子、濱道俊成、南多恵子、村岡正司、梅田純平、青山織衣、市居利絵、江渕桂子、永井美佳、椋木美緒

＜主な協議内容＞VNC事業の骨格と方向性、ボランティア・NPO関連事業の検討、貸会議室支援メニューなど

・コーディネーション部会(部会長・谷水美香、V8人+職員5人)

運営委員会のテーマ別部会の一つとして設置。主としてコーディネーション事業の戦略を検討したり、事業の進捗管理、評価等を担う。

＜委員＞谷水美香(部会長)、岩本裕子(ML参加)、椎名保友、立小川剛、杉浦健、筒井のり子、濱道俊成、南多恵子、青山織衣、市居利絵、梅田純平、永井美佳、椋木美緒

(5) 企業市民活動推進センター運営委員会(委員長・楠正吉、V7人+職員3人)

企業市民活動の推進を図るため、企業市民活動推進センター(CCC)の戦略と事業全般の企画立案、推進、評価を行うために設置。20年度は、年10回の運営委員会を開催。

＜委員＞楠正吉(委員長)、井上小太郎、江本雅朗、小林義彦、塩川恵造、中川智子、原田京子、

永井美佳、江渕桂子、谷垣哲也

＜主な協議内容＞2020年度のCCC事業の進捗確認、CCC事業のサービスメニュー整理と有料化の実施・検証、コロナ禍での意見交換会やNPOの課題を聞く会の企画運営、2020年度の事業評価と2021年度計画など

(6) 災害支援委員会 (委員長・森本聡、V7人+職員3人)

大地震や異常気象による災害が予想される中、協会としてどう備え、どう対応するかを考える部門として、「災害支援委員会」を2014年に新設。20年度は委員会を11回開催した。

＜委員＞森本聡 (委員長)、楠正吉、紺屋仁志、水谷綾、谷水美香、梅田純平、谷垣哲也、永井美佳
(オブザーバー) 井上小太郎、入江由美子

＜主な協議内容＞実災害支援、東日本大震災10年の振り返り、災害支援方針と協会BCP(事業継続計画)のあり方検討、など

(7) ボランティアリズム研究所運営委員会 (委員長・岡本仁宏、V8人+職員2人)

協会の研究部門として、社会的孤立が発生する問題構造と解消への道筋の理論化、ボランティア・NPO・市民活動に関する歴史の保存、NPOの調査・研究能力向上などに取り組んでいる。19年度は8回開催した。

＜委員＞岡本仁宏 (所長、委員長)、井上小太郎、岡本榮一、工藤宏司、筒井のり子、藤井渉、牧口明、早瀬昇、永井美佳、梅田純平

＜主な協議内容＞『ボランティア・NPO・市民活動年表』編集委員会、『ボランティアリズム研究』第4号発刊記念読書会の企画など

(8) チーム・専門委員会などの活動 (7チーム・3委員会、ボランティアのべ103人)

ボランティアスタッフが直接推進している事業は、推進チーム、専門委員会などを組織して企画・運営している。各チーム、専門委員会の名称などは以下のとおりである。

- ①. ボランティアスタイルチーム (チーフ・藤原正規、古谷信将、V15+職1人。月1回)
- ②. 「裁判員ACT」裁判への市民参加を進める会」チーム (チーフ・磯野太郎、V23+職1人。月1回)
- ③. CANVAS谷町のデザインチーム「たにまちっく」 (チーフ・谷水美香、V5+職1人。月1回)
- ④. CANVASよるがくチーム (チーフを決めず、V5+職1人。随時)
- ⑤. SUG(スグに動く災害支援チーム) (チーフ・紺屋仁志、V5+職1人。随時)
- ⑥. ボランティア・市民活動ライブラリー運営チーム (チーフ・久保友美、V4+職1人。月1回)
- ⑦. 「ウオロ」編集委員会 (委員長・増田宏幸、V26+職2人。年8回)
- ⑧. 「ウオロ」発送チーム (チーフを決めず、V12+職2人。年6回)
- ⑨. 「CANVASNEWS」編集委員会 (委員長・西江孝枝、V3+職1人。隔月1回)
- ⑩. アソシエーター活性化委員会 (委員長・上林康典、V5+職1人。随時)

(9) アソシエーター研修

「アソシエーター活性化委員会」が企画運営主体となり、アソシエーターになって概ね2年以内の人を対象とした、協会の基礎的な情報を理解し、他のチームのメンバーと交流を深める目的でアソシエーター基礎研修を行った。2020年度は例年より時間を短くして、午前中の講義はオンラインと対面のハイブリッド、午後は対面のみでワークショップを開催した。

・日時：2020年12月20日(日)10時～15時 ・参加者：オンライン(午前のみ)6人、対面7人+講師5人

(10) 会員向け企画

◎「コロナに負けるな！オンライン交流会」

第4章②「新型コロナウイルス対応関連の動き」で詳細報告。

◎「緊急学習会 いわゆる『大阪都構想』で大阪市の福祉はどうなる？」

2020年11月1日に実施された「大阪都構想」の是非を問う住民投票を前に、理解を深めるための緊急学習会を会員有志の実行委員会形式で開催した。

・日時：2020年10月21日(水)19時～21時 ・参加者：22人 ・講師：武直樹(大阪市議員)

4. 事務局体制の充実

(1) 職員研修の実施

(1回目) 開催日: 2020年8月28日(水) 参加者: 職員7人

内 容: 担当事業の現状評価と今年度末の目標

(2回目) 開催日: 2020年9月2日(水) 参加者: 職員7人

内 容: ストレングスファインダー

そのほか、協会主催や外部主催などの一般向けの講座・セミナーにも、各職員が研修として参加している。

(2) 事務局マネージャー会議の設置

事務局運営の円滑化をはかるため、事務局長、事務局次長、事務局主幹の4人で、随時開催。事務局体制の検討や職員研修の企画、労務や法人事務、事務局会議での検討事項の整理にあたった。

(3) 2020年度の事務局体制

2020年度に事務局業務に従事した有給スタッフとボランティアは、以下のとおりである。常勤職員7人、非常勤職員14人であり、雇用形態別では正職員5人、出向職員1人、嘱託職員5人、アルバイト10人であった(入退職あり。以下、敬称略)。

※ ボランティアをVと略記

早瀬 昇(理事長)

【正職員】永井美佳(常務理事・事務局長・統括会計責任者・公正採用選人権啓発推進員; 全体統括・渉外、法人、財務・給与、人事・労務管理、常任理事会・常任運営委、裁判員ACT、たにまちつく、3.11fk実行委、まちなか被災、みんなおんなじ空の下基金、うめきた朝ガク、ウォロ、民ボラ、ネットワーク等)、江渕桂子(事務局次長; 総務・労務・庶務統括、会員・寄附・ウォロ等顧客データベース構築・運用、CVニュース、CCC・企業企画相談統括、阪急阪神ゆめまち助成、阪神高速道路助成事業創出、出版・編集、CV統括等)、梅田純平(事務局主幹; V・NPO推進センター統括、団体支援・団体支援研修、寄附・寄贈・推薦・後援名義支援、ろうきんパートナー制度、積水マッチングプログラム、タケダ・NPOサポートプログラム第2期創出、ボランティアリズム研究所、府共募助成統括、災害支援統括、3.11fk、JVC A3級検定、ウェブサイト更新、情報システム管理、代表メール管理等、※SAVE JAPAN; 中止)、椋木美緒(事務局主幹; 市福祉Vコーディネーション事業統括、Vしたい・求む相談、KVネット・リニューアル統括、ボランティアスタイル、よるがく、ライブラリー、アソシエーター活性化、講師派遣調整、大学VC協議会、真如苑助成等、※VCO基礎研修; 中止)、船越智絵(療養のため休職、1月末で退職)、谷垣哲也(花王(株)より出向: フィランソロピー・CSRリンクアップフォーラム、CCC運営委、CCC相談、団体賛助・法人コミュニケーション、災害備蓄管理、災害支援事業等)

【嘱託職員】塩谷邦子(3月末退職: 出納職員; 経理、社会保険、稟議管理等)、岩本恭典(3月末退職: 市福祉Vコーディネーション・生徒と福祉)、青山織衣(コロナ緊急支援統括、CO部会、市福祉Vコーディネーション、相談統計、インクルーシブV研究会、はじV説明会等)、市居利絵(6月より入職: 市福祉Vコーディネーション、はじV説明会、KVネット情報更新・記事加工、V保険)、高橋聡子(2月より入職: 出納職員; 経理)

【アルバイト】山下輝夫(9月末退職: CANVAS窓口、新聞PDF化)、岡村豊子(出版・ウォロ販売管理、新聞PDF化、庶務等)、梅原聡(市福祉Vコーディネーション、活動希望者相談、KVネット・リニューアル、SNS・メルマガ情報発信、学生チーム企画運営等)、陳代修平(CANVAS窓口、CV情報管理、SNS情報発信、総務補助等)、山科圭子(個人会員、寄附等)、杉浦健(9月末退職: KVネット情報更新・記事加工、メルマガ等、活動希望者相談、CANVAS窓口)、木下通理(CANVAS窓口、総務補助等)、吉岡睦伸(CANVAS窓口、新聞PDF化)、森本莉永(3月末退職: 真如苑補助、総務補助等)、新出起子(7月より入職: CANVAS窓口、総務補助等)

【ボランティア】[事務局支援(電話当番、新聞切抜、ライブラリー整備、データベース構築、事務局補助等)] 天竹りさ、紺屋仁志、丈島崇、華房ひろ子、林寛人

なお、2020年4月1～29日に梅田が育児休業を取得し、2021年1月31日付で船越が退職した。

この他にも日常的に多くの方々にボランティアとして事務局業務にご協力いただきました。ありがとうございます。